

令和4年度 本学教育改善のための卒業生アンケート結果

(令和4年8～9月実施)

【対象研修医】：研修医2年目（R2.3月卒業） 67名

【回答数】：19名（回答率：28.4%）

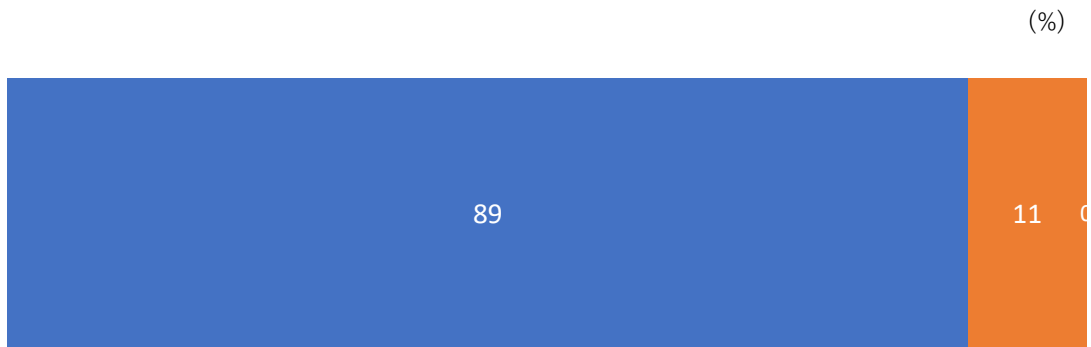
※昨年度：48.0%（75名中36名）

【まとめ】

1. 大学時代の満足度が高かったのは、マルチメディア教室、校舎棟ラウンジ、寮施設・寮生活全般、ブース等の自己学修環境などであった。
2. 大学時代の講義や実習で不満を感じる科目では、国試対策が最も多く、次いで基礎医学講義、英語であった。
具体的記述として、国家試験と卒業試験・授業で範囲や難易度の違いについての回答が多かった。また、6年時にコロナ禍となったため、突発的な変更についての不満があった。
3. 本学の教育においてよかった点については、教員の熱心な指導、親身になってくれたといった回答がみられた。
4. 卒業後の進路は「4～5学年になってから決めた」が42%、6学年以降が32%であった。決定に重視した要素では出身地域が最多であった。
5. 現在の仕事に必要なスキルは、時間管理、責任感、コミュニケーション、身体診察能力などの回答が多かった。また、大学時代に養われた満足度では、医学知識が最多で、時間管理、マナー態度が続いた。
6. 一方、英語力は現在の仕事への必要性・大学時代に養われた満足度ともに低い結果となった。
7. 卒業生対象の生涯教育として学修したい内容では、臨床医学一般が最多であった。次いで基礎医学一般、医業関連法規の順であった。

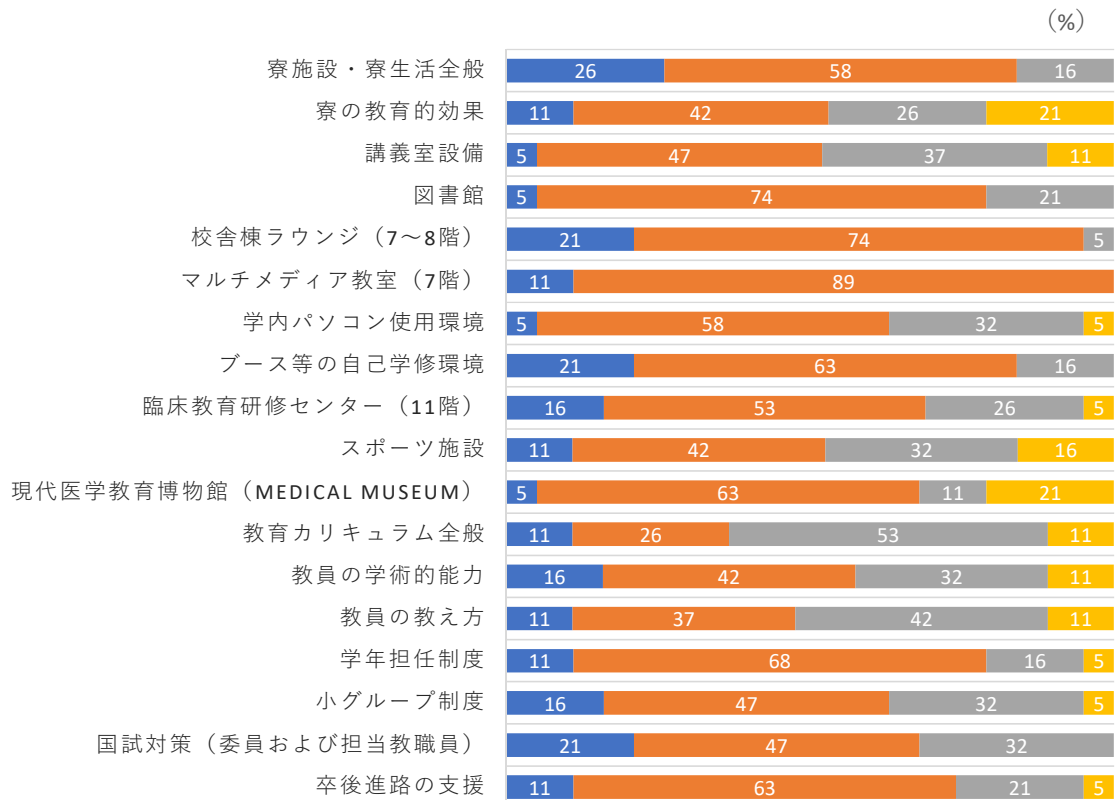
卒業年度別回答率

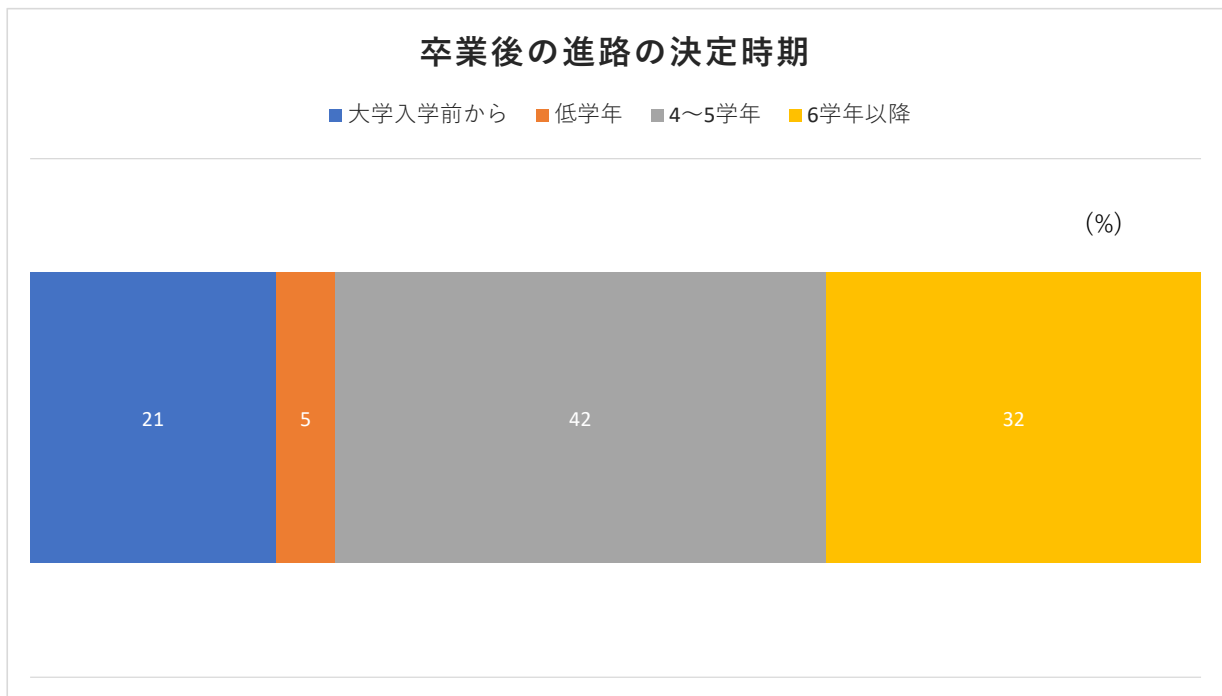
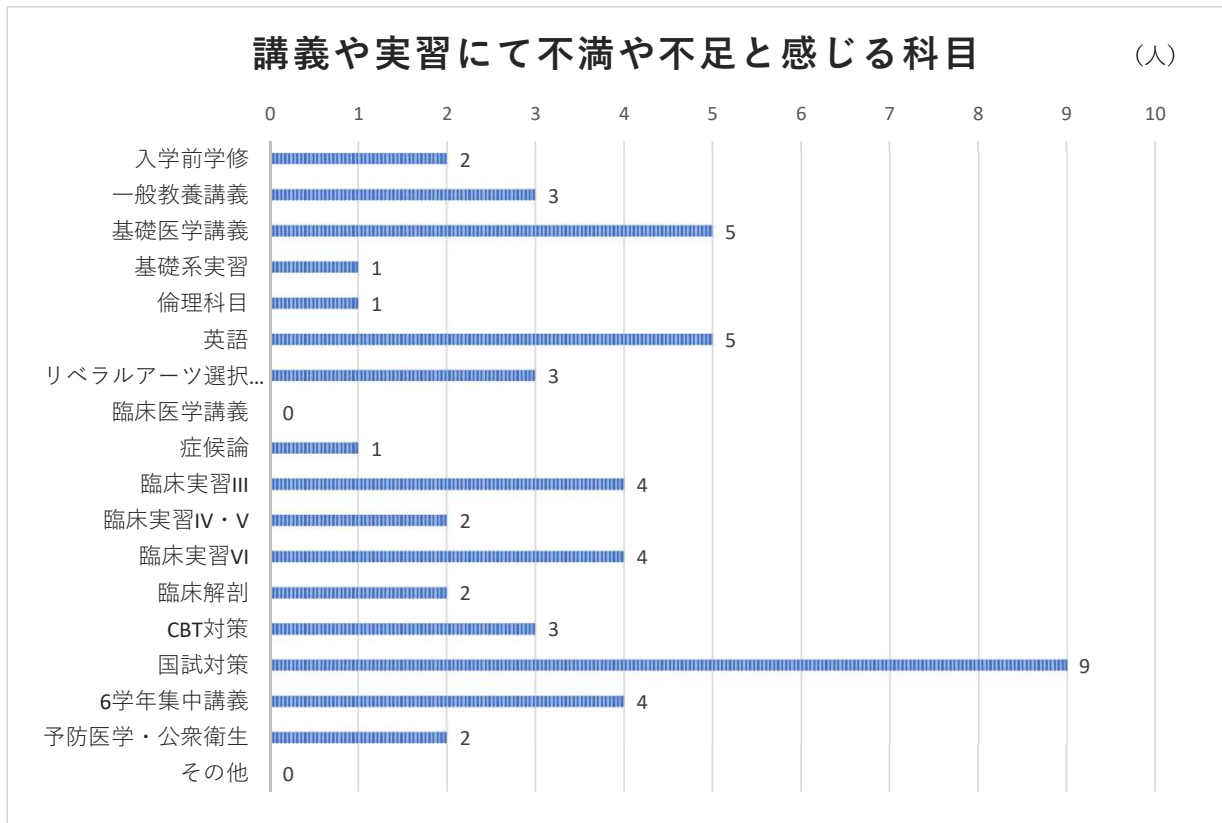
■ 令和2年度(2021年3月卒) ■ それ以外 ■ 未記入

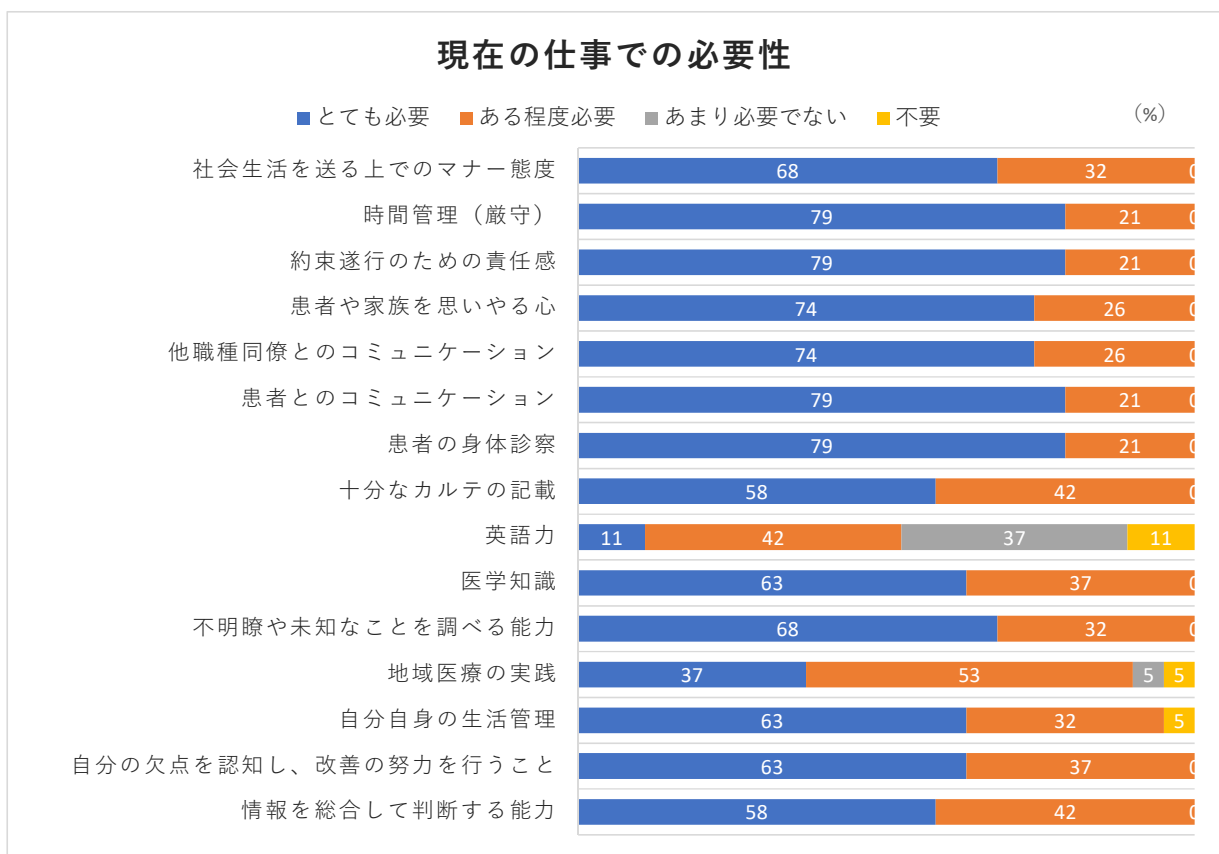
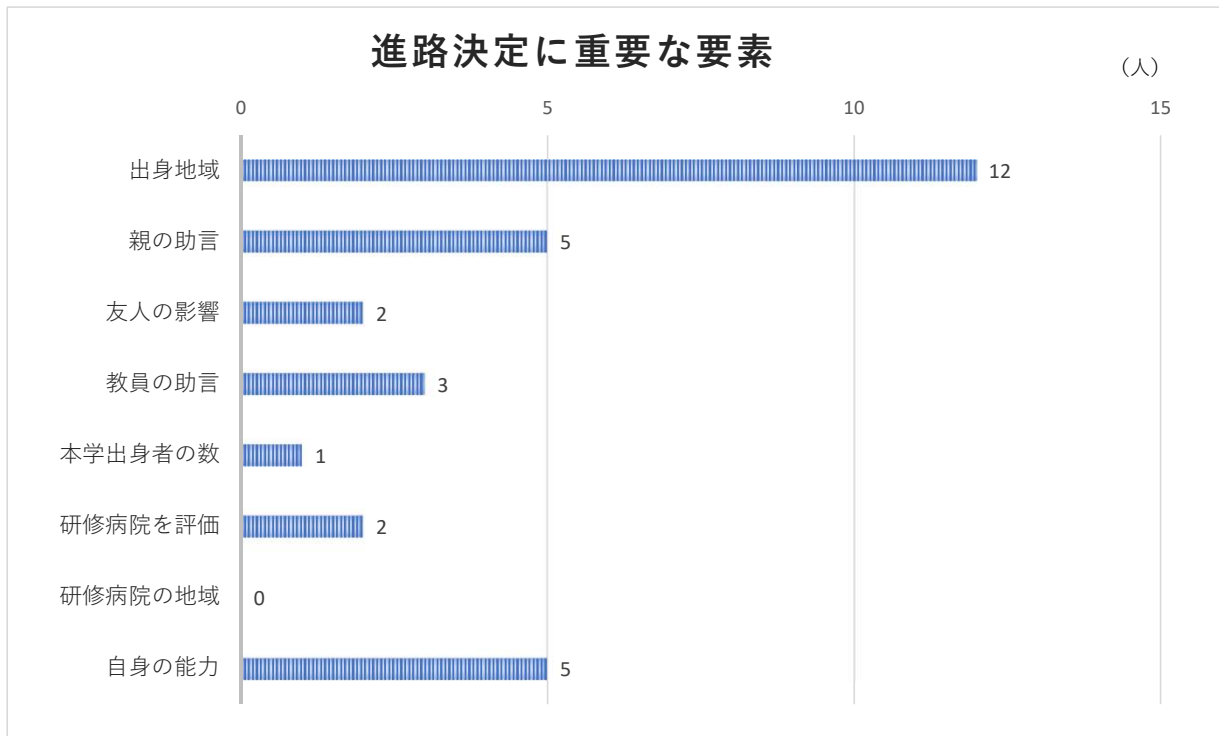


学修環境の満足度

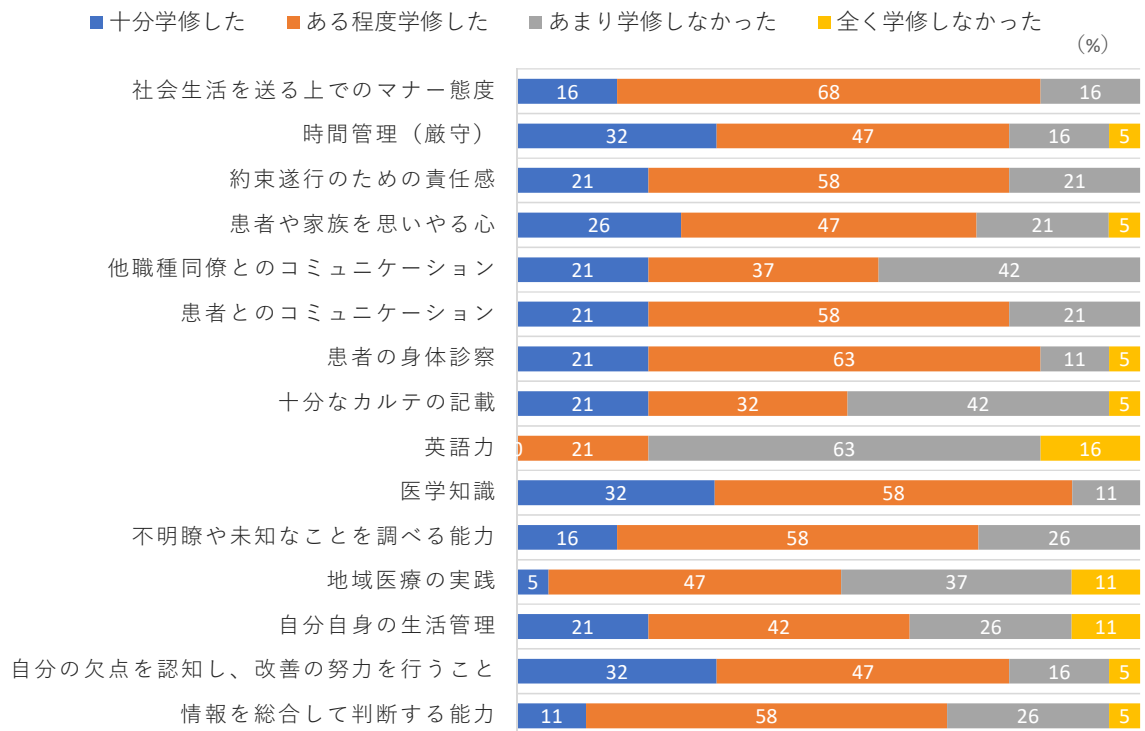
■ 十分満足だった ■ ある程度満足だった ■ あまり満足でなかった ■ 全く満足できなかった







大学時代に養われた満足度



生涯教育として学修したい内容

